



環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



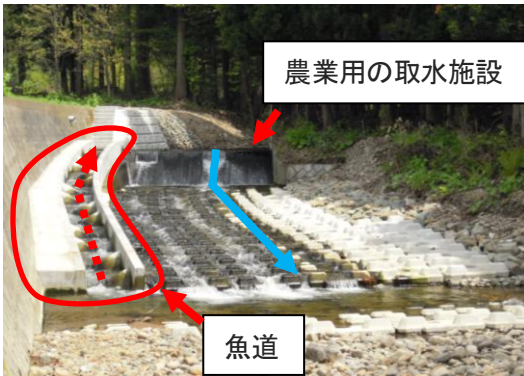
第8号 平成23年3月
発行/環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

■事業の紹介

～ 里地里山・田園保全再生事業 ～

県では、豊かで美しい里地里山から田園に至る環境の保全・再生を図るため、今年度から核燃料サイクル交付金を活用し、「里地里山・田園保全再生事業」を実施しています。本事業は、これまでに実施した公共事業によって、効率性や経済性を重視するあまり、自然環境や景観が損なわれている地区等において、魚道の設置やコンクリート水路から石積水路などへの施設の改修を行うものです。

○本事業での整備イメージ



魚道の設置

魚類が河川を遡上できるように、農業用の取水施設などに魚道を設置します。



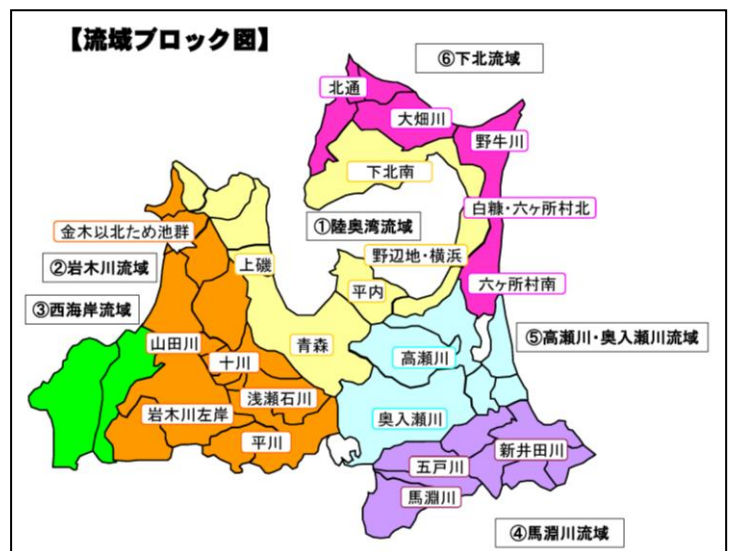
石積水路への改修

地域固有の景観を取り戻すため、自然石などを用いた改修を行います。

事業の取組状況

今年度は、本事業の実施を要望している地域のアンケートや、県内各地の現状調査、さらには、学識経験者からなる検討会を開催し、県内の6流域（陸奥湾、岩木川、馬淵川など）ごとの整備方針と県の全体計画を策定しているところです。

今後、本計画に沿って、地場の資源・技術・人材を最大限に活用することを基本に、「地域力の再生」や「農・林・水の連携」といった「環境公共」の理念に基づき、環境の保全・再生を図る整備を進めていくこととしています。



■県内の「環境公共」取組レポート

さくらさわぬま さんのへ このへ
桜沢沼地区（三戸郡五戸町）～ 地域ぐるみによるため池の環境保全 ～

1 地区の概要

このへ
五戸町の東部にあるさくらさわぬま
桜沢沼ため池は、大正時代に築造され、下流の71ヘクタールの水田地帯へ農業用水を供給しています。一方、このため池は、メダカやイバラトミヨなどの希少な生き物が生息し、地域の人たちから「桜沼」と呼ばれて親しまれ、平成21年度には、豊かな自然環境に恵まれた「環境公共としておき水循環区」に認定されました。

2 環境保全活動の内容

桜沢沼ため池は、かつて、施設の老朽化や土砂の堆積に加え、農家の高齢化の進行により適切な維持管理が困難な状況となり、雑木などがため池内に繁茂するなど、貯水量の減少などが懸念されていました。このため、ため池を管理するてんまんした
天満下土地改良区や自治会、教職員、PTAなどで構成される



春風にそよぐ鯉のぼり



ワークショップの様子

設置や花壇の整備、「桜沼ウォーク」などを実施し、自ら行えることは自ら行うことにより、「地域力の再生」に取り組んでいます。

「桜沼公園をすすめる会」は、ため池の貯水機能の回復と併せて周辺環境の再生を町や県に働きかけ、平成15年度から県営事業によるため池整備に取り組んできました。

「桜沼公園をすすめる会」は、整備内容や事業完了後の維持管理方法



桜沼ウォークの様子

3 今後の取組

昨年度の事業完了を機に、「桜沼公園をすすめる会」は、名称を「桜沼保存会」に改め、本事業により整備された水辺広場や遊歩道などの草刈りや清掃などの日常の維持管理を、これまで以上に積極的に行っていくこととしています。



整備された水辺広場